

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

12

December
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた

山形県中小企業家同友会「第24期経営指針をつくる会」発表会



第24期経営指針をつくる会 発表会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

経営指針の実践で全社一丸体制をつくろう



11月9日、「第24期経営指針をつくる会」の発表会が、滝の湯ホテルに於いて開かれ6名が修了しました。当日は講師を務めていただいた山形大学大学院理工学研究科教授小野浩幸氏、(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山享氏をはじめ、修了生も駆けつけ、総勢30名が集いました。

今期からは開催時期を同友会の年度に合わせることで、3月に「経営指針を知る会」、4月に「財務セミナー」を行い、5月から5回の講座が開かれました。

特徴としては、第1講で小野教授より「同友会らしい経営指針の確立～現状認識を深め経営理念の作成をめざして～」と題した講義で、経営学の視点から同友会らしい経営指針の体系と経営理念の意味を学び合ったこと、社会・経済が転換期を迎え、10年ビジョンが描けない受講生が近年多いことから、パネルディスカッション形式で業界の10年洞察とそれに向けた取り組みについて修了生4名の報告を取り入れたことなどが挙げられます。



挨拶に立った小川大輔経営指針委員長は、「受講した6名全員が本日の発表会を迎えることができました。この半年間は自社のことを深く考え、自分自身を見つめ直す貴重な時間だったと思います。本日、『経営指針をつくる会』の課程は修了します。

ここからがスタートです。自社に戻り、全社一丸の経営を

実現するために、社員に分かりやすく経営指針を伝えてください。そして、学びの時間を自らつくり、同友会の例会や全県行事、経営指針委員会、経営指針をつくる会へ積極的に参加し、経営者の覚悟と責任を持って人を生かす経営を実践してください。これからの学びは今まで以上に深い学びになるはず。実践で深め活躍されることを祈念いたします」と述べました。

続いて受講生一人ひとりが、経営者の覚悟と責任を学び、自分と会社に向き合って自社の進むべき道を詰め込んだ経営指針書を発表。そして、小川委員長より修了書が授与されると、緊張の面持ちだった受講生は笑顔にかわり、大きな拍手に包まれました。

最後に菅原茂秋代表理事が「私も12期に修了しました。この経営指針をつくる会は考え方を学ぶ場であり、多面的なものの見方、先を見る力などが養われたことと思います。それを生かすのは皆さん次第です。持続可能な社会づくりを描いていかない限り、世の中はよくなりません。人口減少の経済を切り拓いていくのは我々企業家です。経営と同友会の運動は車の両輪であり、同友会で学び実践することが経営の羅針盤を磨き上げることにつながります。気概を持って経営をしていきましょう」と締めくくりました。



経営者と幹部が共に育ち「人を生かす経営」の実践をめざす



6月19日、7月17日、10月24日に社員共育委員会主催で幹部社員研修が開催され、16社から25名の幹部社員を含めた40名が参加しました。

これまで全2講で開催されていた幹部社員研修ですが、事前の課題抽出をより重点的に行うために、今年度は全3講の開催となりました。

第1講では、庄司社員共育委員長が研修の目的を説明。経営者に対しても「知識を得るだけでなく、自社を見つめ、社員を巻き込みながら課題を解決することが組織を強くします。経営者が進むべき方向を示し、幹部社員を育て、全社的に気づきと実践ができる研修を目指したいと思います」と呼びかけました。



その後「幹部社員の役割」と題し、(株)サニックス 経営企画部部長 大江藤之氏が講義を行いました。大江氏は、幹部社員の役割は目標達成のPDCAサイクルを構築することだとし、そのために内部・外部環境を分析しながら問題を把握し、課題化して社員を巻き込みながら解決へ導く力が幹部社員には必要と話しました。そして目標設定の上で、企業のビジョン、方針、計画の根本である、企業のあるべき姿＝経営理念を真に共有できているかが重要と提起しました。そして自社のガイドブック製作プロジェクトに取り組んだ事例について、問題の具体化から根本原因を探った過程を振り返り、メンバーが考え、気づき、主体的に動けるよう仕組みを幹部側が作ったことが功を奏したと述べました。そして経営資源を「使う/使えない」だけでなく、「どう生かすか」の視点を持つことを呼びかけ、参加者へエールを送りました。後半には課題抽出シートを用いてグループ



討論を行い、参加者同士で情報交換を行いながら自社の成熟度を確認しました。



第2講では「目標による管理でチームを強くする」と題し(株)フロッツ 取締役 五十嵐久仁子氏から講義がありました。五十嵐氏は最初に、管理職の役割として、「計画」「指令」「統制」「調整」の管理プロセスを、自分が実行するのみならず社員も

できるように育成することや、上司の意思決定の補佐をすること、問題の火消しでなく発見や予測を行うこと、部下の育成などがあるとし、その基本には信頼関係があると語りました。そして管理の展開として、経営方針を部課の方針に段階的に落とし込んで個人目標へ連動させることで、組織の成果と同時に個人の達成感にもつながると説明しました。また、目標達成のためには管理項目の設定とギャップを埋めるための行動につながる会議が不可欠です。そのために、まず管理項目を決めてデータを収集し、次年度以降の精度向上につなげること、後手に回らないように幹部が率先して会議を改善するなどの「先行管理」が必要と強調しました。そして最後に「方針管理によって目標達成が個人段階から積み上がり経営方針が達成されるのが『本当の全社一丸体制』です。それができるかは管理職の目標や管理プロセスの実行にかかっています」と締めくくりました。

その後にはグループ討論を行い、シートと講義を踏まえて取り組み課題、目標と実行計画を設定。その後3か月の実行期間を空けて、設定した目標に向けて各社で取り組みを進めました。

最後の第3講は受講者の成果報告会となりました。例年は数社に代表して報告していただきましたが、今年は全参加者が壇上で報告。各参加者が、第2講までを経て設定した目標、課題と、それにどのように取り組んだかを報告。具体的な成果につながった方、推進中の方など、それぞれに成果、課題がありましたが、自社の取り組みをまとめるとともに、他社の取り組みから学ぶ機会にもなりました。その後はグループでこれからどうしていくかについて討論。続けたいこと、スタートしたいこと、参考にしたい他社の事例などを共有し、今後の取り組みにつなげる形で閉会となりました。

人とロボットが共生する社会

～スマート化が進む世の中で中小企業経営者は何を考えるべきか～



全県での学習会の第3弾として10月28日に「技術革新学習会」を開催しました。スマート化が進むビジネス環境で、現状を知り対応について考える事をねらいとして開催され、31名が参加しました。

冒頭、挨拶に立った菅原代表理事は、「日本の生産性は先進国で最低という状況です。これを改善するためにもロボットとの共生が急務になってくる。生産性が低いと言われている中小企業家がどんどん取り組んでいかなければ取り残されてしまうという認識のもと、今回の学習会を開催しています。今回の学習会を自社経営にどう活かし、どう取り組んでいくべきかについて考える機会にさせていただきたい」と語りました。

学習会では、講師にビジネスソリューションパートナーズ(同) 代表社員 佐々木剛氏を迎え、「人とロボットが共生する社会～スマート化が進む世の中で中小企業経営者は何を考えるべきか～」と題してお話をいただきました。



はじめに佐々木氏は、産業用ロボットとサービスロボットの違いについて、「産業用ロボットは大きな工場のラインに入れて単一の作業しかできない。また導入後の生産性が重視され、導入する場所は工場や製造現場が多い。教えた動作を繰り返し行う点が特徴。一方サービスロボットは、人と共に働くロボットであり、人間の作業代替が中心。

場所を選ばず、複数の作業が可能。また、導入後パフォーマンスの調整が可能であることが大きな特徴である」と説明し、「サービスロボットは一家に一台ではなく、一部屋に一台の時代が来る。IoTやAIを実装したロボットの恩恵を受けて、我々の生活が大きく変わっていく」と語りました。

そして、現在の日本のビジネスにおいて労働力の確保と、生産性改善の双方の取り組みが不可欠であると指摘。この課題に対して佐々木氏は「ロボットは人口減少の中で労働力不足の補完に使われると思っている。単純作業については、現在のロボット技術で代替可能な場合が多く、人の作業を減らすことで生産性向上にもつながる。ロボットはITと同じく、ビジネスにおけるインフラとなり、ロボットを持たない企業の競争力は著しく低下する」と語り、今後のビジネス環境では人の代替を担えるサービスロボットの導入が必要不可欠になってきていることを説明しました。

続いて、サービスロボットの各産業での導入事例が紹介され、佐々木氏は「ロボットはただ導入するだけでは不十分。ロボットの特徴を理解して、定着化を図る必要がある。まだまだ改良の余地はあるものの、導入することで業務効率を上げることは可能。また、人間と比較して品質やスピードは遅いが、人の手を介さなくてもロボットは動き続けるということを念頭に置くことで、ビジネスに活用することが出来る」と導入のポイントを説明しました。

最後に、佐々木氏は中小企業経営者として考えなければならない点として、①人とロボットの作業の切り分けを社長自らが行う②業務リソース(経営資源)の在り方をもう一度考え直す③時代のスピードを捉え変化に挑戦していく、の3点を提起。そして、「最終的な答えは経営者の皆さんの中にあります。これを機に人とロボットが共生する社会についてじっくりとお考えいただければと思います」と語りました。

参加者からは、「未来のビジネスを考えるきっかけになった」「付加価値に関係のないプロセスにロボットを導入していくことは必要だと感じた」「自社内で本当にロボットが必要な点はどこなのか精査していきたい」といった感想が寄せられました。

12月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

望年会

特別報告 資金調達だけじゃない！
『クラウドファンディング』の使い道とサービス

2019.12.4(水) 18:30~21:00

場所: 魚さがるに酒場

山形市香澄町2丁目1-2 2F ☎023-665-5935

報告者: ジョウセン(株) 執行役員経営戦略部長 武田晋一郎氏

参加費: 5,000円 定員: 30名(先着順)

毎年恒例の望年会のご案内です。今回の望年会は、乾杯前に武田さんよりクラウドファンディングの基礎知識から、「何ができるのか」を解説いただきます。クラウドファンディングは商品開発の資金調達だけでなく、テストマーケティングやプロモーション活動といった活用方法があります。ぜひ武田さんの報告からクラウドファンディングのポイントを学び、活用してみたいかかでしょうか。お話し後は、「魚さがるに酒場」さんの魚介をはじめとする美味しいお料理とお酒を味わいながら、この1年を振り返り、懇親を深めましょう！ゲスト参加大歓迎！どなたでも参加できます。ぜひお誘いあわせの上で参加よろしくお願いします。

寒河江支部

寒河江支部忘年会！

2019.12.10(火) 18:30~21:00

場所: 串揚げ寒河江だるま

寒河江市南町2-4-2 ☎0237-85-1808

参加費: 4,000円

12月例会は毎年恒例の忘年会です！年末年始に向けてエネルギーを養い、お酒を酌み交わしながらざっくばらんに交流を深めましょう。

特別企画として、寒河江支部の(株)山形ツーリスト誉田社長からおつまみレシビ講座もありますよ！

ここだから言えることや聞ける話があるかもしれません、経営のこと、同友会のこと、地域のこと、大いに語り合しましょう。

社員さん、ゲストさん大歓迎！是非お誘いあわせの上で参加ください。

さくらんぼ支部

望年会

～地元産ワインでワインパーティー～

2019.12.6(金) 18:30~21:00

場所: ペコリーノ スペリオール

東根市さくらんぼ駅前2丁目7-19 ☎0237-42-1588

12月のさくらんぼ支部例会は、毎年恒例の“望年会”です。会場は、イタリアン料理の「ペコリーノ スペリオール」さんです。

今回の望年会では、昨年大好評だったワインパーティーを企画しております。会員企業の(同)東根フルーツワインさんから、地元東根市の果物100%を使用した美味しく身体にも良いフルーツワインを提供いただきます。また、阿部代表よりフルーツワインの健康への影響についてミニ講座も行っていただく予定です！

美味しいイタリアンと美味しいお酒を味わいながら、この1年を振り返り多めに語り合います！他支部会員様、ゲスト様、ご家族でのご参加大歓迎です。みなさまのお越しをお待ちしております。

置賜支部

望年会

～美味しい料理を堪能しながら本音の情報交換をしよう～

2019.12.5(木) 18:30~21:00

場所: なみかた羊肉店

米沢市東2-1-3 ☎0238-24-6887

報告者: (株)it's 代表取締役 今泉孝氏

参加費: 5,000円

置賜支部12月例会は毎年恒例の望年会！今回の会場は「なみかた羊肉店」さんです。

皆様の一年を、義経焼とお酒をおともに振り返り、会社のこと、地域のこと、新しい年にかける思いを100%の本音で語り、交流を深めましょう。

乾杯前には、(株)it'sの今泉社長からの特別報告もございます。ゲスト参加大歓迎！どなたでも参加できます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

庄内支部

望年会

～10年先の大きな夢を語ろう！～

2019.12.16(月) 18:30~21:00

場所: 湯田川温泉つかさや旅館

鶴岡市湯田川乙52 ☎0235-35-2301

報告者: 湯田川温泉 つかさや旅館 若旦那 庄司文彦氏

参加費: 日帰り 8,000円 ご宿泊: 15,000円

今年も残すところ後わずかとなりました。今年最後の庄内支部例会は、毎年恒例の望年会です！

今回の会場は湯田川温泉つかさや旅館さんとなります。若旦那の庄司氏より、今年6月の山形県沖地震で被災した大山の酒蔵を支援したプロジェクトについて、取り組みをご報告いただきます。そしてそのあとは忘年会！現状にとらわれず、多くの仲間たちとともに10年後の大きな夢を語り合います！社員さん、ゲストさんの参加も大歓迎です。お待ちしております！

新庄最上支部

2019忘年会！

2019.12.5(木) 18:30~21:00

場所: 福原鮮魚店

新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-2812

参加費: 5,000円

今年もあとわずかとなりました。毎年恒例、新庄最上支部忘年会のご案内です。

美味しい料理を食べながら、今年の成功や課題、来年の抱負、同友会の学び、地域・業界などなど、ざっくばらんに語り合います！ここだからこそ言える話、聞ける話があるかもしれません。

ゲスト参加も大歓迎ですので、是非お誘いあわせのうえでご参加ください！

2020新春交流会のご案内

働きがいも経済成長も！すべては風土改革から始まる
SDGsの取り組みで持続可能な社会をめざして

講師: SUNSHOW GROUP 代表 西岡徹人氏

日時: 2020年 1月28日(火)

15時00分~20時30分 受付/14:30 開会/15:00

会場: グランドホクヨウ (米沢市金池2-3-7 TEL0238-22-1238)

参加費: 第1部 2,000円 第2部 愛と義の懇親会 6,000円

第7回理事会報告

◆日時:2019年11月11日(月)午後3時~午後5時 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:後藤副代表理事
◆出席者:(敬称略):川合、菅原、後藤、志田、西塔、赤塚、阿部、石川、伊藤、越前屋、大泉、小川、笹林、武内、服部、松岡、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

菅原代表理事より「今年度も後半戦となり、中期ビジョンも最終年度となる大詰めとなる。2020年以降のマクロ・ミクロの様々な課題を、同友会がどのような立ち位置で会員に提起するののかという大きな役割がある。組織委員会でも今後の本質的な課題を各支部の方々と議論を重ねることができた。目標達成に向けての取り組みへの議論をすると共に学習会からも学びあいたい」と挨拶がありました。

■学習会

石川理事から舗装工事業界の動向と、自社の取り組みについて報告があり、その後質疑応答が行われました。

次回報告者:小川大輔氏(企業変革支援プログラムの活用について)

■報告事項

1)公益財団法人産業雇用安定センター「経済団体情報交換会議」

川合代表理事より、10団体が参加し、雇用に関して各団体が情報交換を行い、同友会としては同友会理念に基づき活動しているという説明と、人を生かす経営を目指しての社員共育・共同求人活動、中同協の景況調査から雇用の部分に絞った話をしてきたと報告がありました。

2)10月度月次報告

矢作事務局長より10月度の活動の特徴について、資料をもとに報告がありました。

3)第24期経営指針をつくる会

小川理事が、先週発表会を行い、無事6名が課程を修了し、これから支部例会、委員会、学習会、全県行事などに参加して学びを深めていただきたいと伝えたこと、第1講師の山形大学・小野教授にもご参加いただき、自身は小売業として売上、粗利を追求しているが、そういった業種ばかりではないというご指摘をいただき、そういう視点も委員長として持ちたいと感じ、1~3月は次回つくる会のブラッシュアップと労使見解の学びを深める委員会にしていきたいと報告しました。

4)中小企業憲章・条例学習会

越前屋理事が、京都大学の岡田名誉教授に2年続けて条例を活かした地域づくりについて講演をいただき、東日本大震災や熊本地震の被災者が「危機の一週間」を乗り切れたのは地域中小企業のネットワークを生かした支援があったからだという話もあり、震災以後は条例の制定が加速していること、地域経済は地域の中小企業が担っており、会員の方に条例を理解し生かしていただくことが課題であると報告しました。

5)2019年度半期会計監査

矢作事務局長より10月31日に行われた会計監査の報告がありました。

6)2019年度10月月次決算報告

矢作事務局長から月次決算報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 入会1名 退会1名 11/11現在421名

■討議事項

議題1:組織目標達成に向けて

菅原代表理事より各支部の取り組み状況、新会員オリエンテーションの進捗状況、中期ビジョンの振り返りについて報告があり、第16回経営研究集会に向けてワンゲスト運動を強化することを確認しました。また、酒田地域の組織設立については、設立時の入会を希望する方に対しては、その段階で入会金・会費を納入することが提案され承認されました。

議題2:下半期の活動に向けて

川合代表理事が山形同友会の2019年度活動方針を振り返り、課題として「経営指針作り」「企業変革支援プログラム」「エネルギーや

環境問題」「就業規則の作成・見直し」「新たな仕事づくりのチャンスを見出す」「組織目標488名達成」「役員育成」への取り組みの重要性を提起し、学ぶ場をつくることになりました。

議題3:台風19号の被害と支援金協力の取り組みについて

矢作事務局長より山形の会員被害は1件あり、支援金は現在153,000円集まっていることが報告された後、川合代表理事から期限を中同協の期限に合わせ、目標金額の提案と、不足分については一般会計より支出することの提案があり、承認されました。

議題4:第16回経営研究集会について

阿部理事より講演の打ち合わせと準備状況について報告がありました。また、参加目標に達していないことから各支部の状況を確認し、参加を呼び掛けていくことを確認しました。

議題5:2020新春交流会について

石川理事から開催要項の説明と参加目標、予算の提案があり承認されました。

議題6:技術革新学習会のまとめ

菅原代表理事から「ロボットの進化がどの段階まで来ているかの認識を深める学習会となったが、今後どのように自社の経営に取り入れられるかというアウトプットまで落とし込められると良いと思う」とまとめがあり、今後の学習会の要望に関して意見を募ることとなりました。

■その他

- 1)小さな会社の「最強経営」(プレジデント社)発行のお知らせ
- 2)今後の予定

米沢商工会議所インターンシップ視察	11月13日(水)
第16回経営研究集会	11月21日(木)14:00~ホテルメトロポリタン山形
北海道同友会創立50周年記念式典	11月22日(金)札幌
北海道東北ブロック事務局長会議	11月23日(土)札幌
社員教育活動全国研修交流会	11月28日(木)~29日(金)岡山
中同協事務局長会議	12月12日(木)~13日(金)名古屋
東北ブロック事務局長研修	12月19日(木)盛岡
中同協新春幹事会	1月10日(金)~11日(土)東京
2020新春交流会	1月28日(火)グランドホクヨウ(米沢)

3)次回理事会

●日時:12月11日(水)15:00~17:00

●会場:同友会事務局

1月理事会 1月8日15:00~17:00

2月理事会 2月12日15:00~17:00

3月理事会 3月11日15:00~17:00

4)第2回東北青年経営者フォーラムin福島中止に伴う対応について
台風19号の影響で中止となった東北青年経営者フォーラムについて、経費の一部を負担することを承認しました。

■閉会挨拶

川合代表理事が「盛りだくさんの議事にご協力いただき感謝したい。下半期に入り課題も多く出ており、なかなか深く掘り下げるのは難しかったが、次回理事会も各組織の課題を小さなことでも挙げていただき、改善していくことで会を向上させていきたい」と述べました。

新会員
紹介

なかむら あけみ
◆ 中村 明美 氏
(有)ミートの元気商事
代表取締役
食肉加工・販売
山形支部

